

# さろんアップル便り



第5号  
2016年8月31日発行  
平鹿総合病院  
がん相談支援センター

## 平成28年度 第5回 さろんアップルを開催しました

第5回目の「さろんアップル」が、8月16日(火)に平鹿総合病院で開催されました。サロンには4名の方が参加し、おしゃべり会を開催しました。時間内、メンバーの思い思いを話してもらった時間を過ごすことができました。

### セカンドオピニオンについて

メンバーさんとのお話のなかでセカンドオピニオンについて、お話する機会がありました。

#### セカンドオピニオンとは？

患者さんが納得のいく治療法を選択することができるように、治療の進行状況、次の段階の治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです(中略)病状や進行度によっては時間的な余裕がなく、なるべく早期に治療を開始した方がよい場合もあるので、セカンドオピニオンの準備は現在の担当医に現在の病状と治療の必要性について確認するところから始まります。(がん情報サービスより一部抜粋)

診断から治療方針の決定。再発に伴う治療方針の軌道修正。「これでいいのか？このままでいいのか？」といった思いを抱かれる患者さんは少なくないのではないのでしょうか。様々な治療方法が確立されて久しい昨今の医療を取り巻く情勢のなか、多くの治療方法の選択肢が患者さんには用意されています。

納得のいく治療へと向かうために、また患者さんの意思決定を支えるうえで医療者側と患者さんの信頼関係が根底にあるというのが何よりも大切なのかもしれません。そんな考えを持てた時間でした。

### 秋田県内のがん関連情報が掲載！

秋田さきがけ新聞のホームページに県内のがん情報に関するサイトが新しく開設されました。

ホームページ左上の「がん情報サポートあきた」をクリックするとコラムや症状に関すること、イベント情報などが掲載されています。患者会の情報も掲載されていますので、みなさんも一度チェックしてみてください！



### 1人の少女が教えてくれたこと

毎年、夏の恒例番組といえばみなさんは何を連想しますか？

甲子園、怖い話などなどたくさんあると思います。なんとといっても24時間テレビではないでしょうか！と、思っているのは私だけでしょうか( ^ ^ )

先日、放送していた「24時間テレビ」での感動の一場面についてふれたいと思います。

それは、『盲学校&ろう学校、総勢130名の生徒がよさこいダンスに挑戦』という1コマ。

よさこいメンバーの1人に網膜芽細胞腫、骨肉腫で両目の視力を失った少女の物語。

そこには、発病から闘病生活、支えてくれた家族への思い、よさこいダンスに挑戦するに至った経緯が語られていました。

「両目の視力を失う前に、最後に見た光景で記憶しているのは？」という質問に対して、彼女の答えは「お母さんの泣いている顔」でした。

よさこいダンスに挑戦するのも、お母さんを元気にしたい、笑顔にしたい。自分を責めないで。という一心からでした。

ダンスは見事成功、お母さんは目を腫らし笑顔で娘の雄姿を見届けていました。

親子の絆が一層、固く強さを持った絆へと変わった場面に感じられました。

病気や障害は不幸なこと不便なことと思われがちです。しかし、それを経験することで初めて分かることや気づきがあり、得るものもあると思います。

テレビに映る少女から学んだことは、人は大切な人を思い、ひたむきに頑張ることにより強くなれること、大切な人を笑顔にできるということでした。

### 次回さろんアップル開催のお知らせ

9月20日(火)10時~12時

平鹿総合病院 第一会議室

内容は「パステルアート」です

残暑が続きますが、夜には様々な音色を奏でる虫のオーケストラが秋めいているのを一層連想させてくれます。

秋の風物詩をパステルアートで作りませんか？

お一人で悩んだり不安なことがありましたら、いつでも「がん相談支援センター」へお立ち寄りください。  
(電話相談も承っております。)

問合せ先: 平鹿総合病院 0182-32-5121[代表]  
がん相談支援センター中田(内線5984)/奥山(内線5905)  
E-mail gansoudan@hiraka-hp.yokote.akita.jp

